

平成 28 年度 四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会
第 7 回検討会での質問に対する回答について

第 7 回検討会における傍聴者の方々からのご質問についてお答えします。

○質問－ 1

浚渫した砂を盛土などに利用しないで河中に戻した方が良いのでは？

◆回答－ 1

浚渫土砂の処理方法については、第 2 回環境部会（平成 25 年 12 月 10 日開催）の中で、浚渫土砂の処理方法に関するご意見を受け、第 2 回検討会（平成 26 年 1 月 16 日開催）の中で、環境保全対策の 1 つとして取り上げ、これまで検討してまいりました。また、検討会の大きな方針として、極力浚渫による影響を伴わない施工方法を採用することとしており、浚渫した土砂を河川内に仮置きする場合、仮置きする場所に生息する生物への影響や、仮置きによる濁りの拡散等、その影響範囲が一層広大になることが予想されます。また、陸揚げした土砂を元の場所に戻す場合も、同様の影響が生じると予想されます。それらを踏まえ、環境保全対策の 1 つとして浚渫土砂を陸揚げすることといたしました。今後、陸揚げした土砂は盛土に転用することを基本と考えておりますが、処理方法については委員のご意見を伺い、適切に対応していきたいと考えております。

なお、これまでの検討会・部会の議事内容については、下記で示しておりますのでご確認いただければと思います。

第 2 回環境部会 <http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h25/1210/>)

第 2 回検討会 <http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0116/pdfs/1-03.pdf>

○質問－ 2

干潟面積が減少しているというデータがでています。しゅんせつ土砂を川から持ち出すのは疑問です。大量の土砂になると思います。元の吉野川にもどすべきだと考えます。しゅんせつした箇所の復元予測を全く無視し、疑論もせずにおかしい。河口干潟への影響がとても心配です。しかも、陸側の道路の盛り土に利用するのは心配です。河川法許可おりにしているのですか？

◆回答－ 2

上記の質問－ 1 に対する回答をご確認下さい。なお、港湾許可を得て、工事並びに浚渫を実施しております。

第7回検討会では傍聴者の方々から意見・要望を頂きました。

○意見・要望－1

P.18の3-8に鳥類の調査結果が示されているが、表を見ると、9月同志の比較をすると、生息状況の数に大きな変化がないにもかかわらず、H.27.9のダイゼン、シロチドリ、ミユビシギ、ハマシギの飛翔が見られなくなっている。人工海浜の利用鳥数が低下しているという感想も含めて、右岸の工事も含めた鳥類への圧力が高まっていることが危惧される。代償そちが考えられるべきである。

◆回答－1

本検討会の説明資料1のP20をご確認下さい。飛翔状況調査は、マリンピア沖洲人工海浜と小松海岸から河口干潟の間を通過する鳥類の計測を行っている調査です。平成26年9月の調査時には、満潮頃に人工海浜と小松海岸で休息しているシギ・チドリ類が多く、干潮頃に干潟周辺で採餌する個体が多い状況にありました。そのため、休息場と採餌場間の行き来が多く、飛翔した数が多い状況にありました。しかしながら、以降の調査では、人工海浜と小松海岸で確認されたシギ・チドリ類は少なく、河口干潟で採餌と休息の両方を行っている状況にあり、渡河部周辺を飛翔する必要が無く、通過した個体数が少ない状況にあります。事前調査により、工事を実施していない状況にあるものの、シギ・チドリ類の休息場は変化することが確認されたものと認識しております。今後も引き続き、モニタリング調査を実施してまいります。

○意見・要望－2

しゅんせつ箇所の生物調査は行ってください。ハビタットモデルよりも重要だと思います。

◆回答－2

浚渫箇所における底生生物の調査については、本検討会でその必要性が各委員より意見されたところです。今後、調査について、委員からご指導、ご助言をいただきながら適切に進めていきたいと考えております。

○意見・要望－3

調査設計の見直しについて、今までの手法を検討すべきだと多くの委員が提案されておりました。実際の有効な調査を追加することをしつらずに委員のご意見をもっとしんしにきいて反映してください。切におねがいします。

◆回答－3

環境モニタリング調査については、引き続き、委員からご指導、ご助言をいただきながら適切に進めていきたいと考えております。

○意見・要望－４

NEXCO 西日本として異例である検討会をつくっただけで環境配慮しているというのは疑問です。せっかく気合いをいれてつくってくださったのですから。「環境調査」および「検討会設置」等が貴重な吉野川の自然環境の場所に人工構造物をつくる工事にどのように反映されるのか、どう関連付けていくのか、明確ではない。どのように環境配慮しているのか具体的におしえてください。

◆回答－４

橋梁設計並びに環境配慮に関しましては、第５回検討会（平成 27 年 4 月 27 日開催）をご確認下さい。

第 5 回検討会 <http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h27/0427/>

○意見・要望－５

いろいろな課題が出てきました。1 年に 1 回の検討会だけでなく議論の場を設けてください。

◆回答－５

検討会の開催については、基本的に 1 年に 1 回開催することとしております。環境モニタリング調査及び橋梁設計については、適宜、各委員に確認していただくこととしており、検討課題が生じた場合、環境部会並びに橋梁部会を随時開催することとしております。また、その結果については公表してまいります。

○意見・要望－６

市民意見をきく場を定期的に設けてください。

◆回答－６

吉野川渡河部の環境保全に関する検討会及び部会は、一般の方にも公開して実施しており、検討会及び部会における一般の方からの御意見については、質問メモとしていただき、別途回答しているところです。

吉野川渡河部の環境保全に関する検討会及び部会以外に、当該事業におけるご意見については、下記にお問い合わせ下さい。

西日本高速道路㈱ 徳島工事事務所

T E L : 088-626-2021

○意見・要望－７

調査データに関してパブリックコメント実施してください。

◆回答－７

環境モニタリング調査の結果については、適宜、各調査の専門家である委員に相談・確認をしております。環境モニタリング調査については、引き続き、委員からご指導、ご助言をいただきながら適切に進めていきたいと考えております。

○意見・要望－ 8

検討会広報がおそすぎます。今回は4日前。もっと早くおねがいします。みんな仕事など、予定を調整するのにたいへんです。

◆回答－ 8

検討会の開催につきましては、概ね開催1週間前を目途に、NEXCO西日本ホームページで御案内しているところです。今回のお知らせ時期につきましては、内部手続きの遅れから開催直近でのお知らせとなってしまう、大変御迷惑をお掛けしました。
